

カリキュラム(ひな形)

機構施設名： 沖縄職業能力開発促進センター
 実施機関名： 株式会社エモーサル

B.組織マネジメント	組織力強化	現場社員のための組織行動力向上
-------------------	--------------	------------------------

コースのねらい	企業の仕組みや、業界の背景について理解を深め、一般社員のうちから経営者の視点を理解し、上司の補佐や後輩の育成を行い、生産性向上のためのビジネス感覚を養うことにより、自ら主体的に社内の問題発見・業務改善を現場から発信するために必要な知識、技能を習得する。
----------------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)
講義内容	1	企業組織と生産活動 (1)オリエンテーション 本日の目的目標、全体像を把握し、研修に臨む態度、実務での活かし方について説明する。グループ同士でのアイスブレイクを行う。 (2) 企業経営の仕組みと生産活動の目的と目標 ・企業経営と経営の仕組みについて理解する。 ・生産活動の目的と目標の重要性について理解する。 (3) 経営者の視点とコスト感覚 ・現場視点と経営者の視点の違いを学ぶ。 ・コスト感覚をつかむ。	1.5
	2	状況変化に対応する現場力 (1) 現場力を高めるための要素 ・現場の状況を、技術、数字、動向など、幅広く知り現状把握をする。なんとなくではなく、論理的に知ることが必要と理解する。 (2) 現場の問題発見と改善姿勢 ・ケーススタディを通じて問題を発見する。 ・フレームワークを用いて改善の視点を学び、実践できるようになる。 (3) 現場力の継承と人材育成 ・自身が能力を身に着けると同時にその能力を周囲のメンバーに伝えて行くことも必要であると理解する。 (4) 専門性向上の必要性 ・専門性を高めることで、業務の効率化や分業化の推進、市場の変化への迅速な対応などが可能になると理解する。	3.0
	3	フォロワーシップと組織行動力 (1) フォロワーシップとは ・リーダーシップとフォロワーシップの定義 ・リーダーになることを見据えたフォロワーシップ ・5つのフォロワーシップの種類 (2) 組織行動力に直結するフォロワーとしての役割 ・リーダーの役割とそれを支えるフォロワーの役割を理解する ・ケーススタディを通してフォロワーの行動を学ぶ (3) 管理者への提案方法 ・現状の把握と具体的な提案ワーク【演習】	1.5
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
リーダーの元で成果を出していくには、お互いの役割を深く認識し、役割の中で高いパフォーマンスを発揮することが重要です。一つの視座で物事を見て上司は何を求めているのだろうか、と考えて行動することで自分と周囲が共に成長出来る環境の実現につながります。